



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎(3880)5996(直通)
ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp> No.226

第1回 定例会

再生紙を使用しています



日暮里・舎人ライナー 出発進行!

平成20年第1回定例会 会議のあらまし

平成20年第1回定例会は、2月21日から3月27日までの会期36日間で開会しました。
今定例会では、区長から提出された平成20年度一般会計予算案等、議案59件、報告4件、議員提出議案8件及び区民のみなさんから提出された請願・陳情について審議しました。
結果については、本文記載のとおりです。

平成20年度各会計予算 補正予算原案を可決

区長提出議案のうち、平成20年度「一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、老人保健医療特別会計」の5会計の予算案及び平成20年度一般会計補正予算(第1号)は、全て原案のとおり可決しました。

平成19年度補正予算 原案を可決

平成19年度「一般会計補正予算(第4号)、国民健康保険特別会計補正予算(第2号)、介護保険特別会計補正予算(第2号)、老人保健医療特別会計補正予算(第2号)」の4会計の補正予算案は、全て原案のとおり可決しました。

その他の区長提出議案 を可決

その他の区長提出議案49件は、全て原案のとおり可決しました。(全議案は5頁に掲載)

教育委員会委員の任命に同意 監査委員の選任に同意

教育委員会委員及び監査委員について、区長から任命及び選任の同意が求められ、議会はこ

れに同意しました。

同 小池 修司
教育委員会委員 小松 郁夫
監査委員 鈴木 良朗

議員提出議案5件を可決

議員提出議案8件のうち、
・足立区議会委員会条例の一部を改正する条例
・足立区政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

・銃犯罪の撲滅を求める意見書
・違法・有害情報から子どもたちを守るための環境整備を求める意見書
の4件については、全会一致により可決しました。

・足立区議会議員定数条例の一部を改正する条例
は、賛成多数で可決しました。
なお、他3件については、否決しました。

請願・陳情を審査

区民のみなさんから提出された請願・陳情は、採択1件、不採択2件で、他20件については、継続して審査することに決定しました。

議員定数条例を改正 5人削減し45人に!

次の一般選挙から実施します

「議員(候補者等を含む。)からの寄付は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をも以って禁止されています。」

たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の行事に対し、寄付・お祝い・差し入れ等を行うことが禁じられています。

また、個人に対して、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お歳暮・お中元等)を行うことも禁じられています。

なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚祝い・香典があります。

区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

主な内容

- 区政を問う (代表一般質問) 2頁
- 議決結果・報告 5頁
- みなさんからの請願・陳情 6頁
- 意見の分かれた案件 6頁
- 足立区議会情報公開制度の実施状況 6頁
- 予算特別委員会の討論(要旨) 7頁
- 平成20年度各会計予算グラフ 8頁
- 平成20年度各会計予算・予算特別委員会審査 8頁

問

代表・一般質問を平成20年2月21日、22日、25日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

日暮里・舎人ライナーの開業をきっかけに、区内経済の発展と賑わいの創出を



自由民主党
馬場 信男 議員

道路特定財源の暫定税率が廃止された場合の影響はどうか

【問】道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、竹ノ塚連続立体交差事業にどのような影響がでるのか。

【政策経営】事業費500億円ペースで試算すると、区負担が約160億円となり、53億円の負担増になる。平成23年度の事業着手が大幅に遅れることも考えられる。

また、鉄道高架化による周辺まちづくりは、総額を仮に100億円とした場合は、概ね20億円余の負担増と想定している。

公共施設再配置計画を区民に理解してもらう必要がある

【問】公共施設再配置計画を広く区民に周知し、理解を求めていく必要があると思うがどうか。

【資産管理】町会、住区センター連絡協議会や青少年委員等の各団体に説明を開始した。今後、パブリックコメントを行い、区民の理解を深めていきたい。

【問】日暮里・舎人ライナーの開業と同時に、舎人公園B地区北側がオープンする。子どもた

ちが幅広く楽しめる場所になるよう都に働きかけるべきと思うがどうか。

【土木】今回、盛土部分を利用して開設されるソリグレンデは、都立公園で最大規模と聞いており、魅力的な施設になるもの期待している。



舎人公園を桜の名所にしたい

【問】足立区の木は「桜」であり、舎人公園を桜の名所に加えて、区内の桜の本数が他自治体にならぬようにしたい。区内の桜の本数が他自治体にならぬようにしたい。区内の桜の本数が他自治体にならぬようにしたい。

また、4月の日暮里・舎人ライナー開業イベントは、舎人公園を利用した大規模なものとして定着させてはどうか。

【土木】舎人公園は、1千本余りの桜が植樹され、上野公園にも匹敵する。今後、都ではこの

「千本桜」をPRし、集客に結び付けたいとのことである。

なお、観光交流協会では、3月上旬に区内18箇所の桜の名所が載った「あだちさくらまつり」を発行する予定である。

また、舎人公園を活用した継続的なイベントについては、公園や桜の整備状況等も見ながら検討していく。

【問】障害者の雇用に関して、中小企業の多い当区の現状はどうか。

また、区内企業と障害者を結び付ける役割が重要と思うが、区としての方針はどうか。

【福祉】ハローワーク足立によれば、管内の障害者雇用率は1.93%で、法定雇用率1.8%を上回っている。

今後とも、ハローワーク足立や就労支援施設と連携を図りながら、区内企業への委託訓練を行うとともに、新規就労先の開拓等のためのコーディネーターを増員し、障害者の区内企業への就労を拡大していく。

後期高齢者医療を区民が理解できるように努力すべきだ

【問】後期高齢者医療の「特別徴収開始のお知らせ」は、保険料を明示していないため、不安

を掻き立てるだけではないか。

また、町会・自治会等を通じて理解に努めるべきであり、保険料決定の通知も、わかりやすい説明にすべきと思うがどうか。

【福祉】保険料額の決定後のお知らせでは、4月の年金支給日直前になってしまったため、特別徴収の該当者に、制度の案内を差し上げている。

その際、保険料の問い合わせに対しては、個人の状況を伺い仮計算額をお知らせしている。

また、説明会は、各地域等で積極的に開催している。今後、関係機関と連携して説明会を開催し、保険料についてわかりやすい説明を行っていく。

若者への保健指導が重要だ

【問】20代、30代の生活習慣病対策が重要と考えるがどうか。

また、当区に多い糖尿病への取り組みが課題と思うがどうか。

【衛生】40歳未満の健診事業は、新たに始まる特定健診・特定保健指導の実施体制の進捗状況にあわせて、健康増進事業として検討していく。

一人ひとりの心がけで環境保護を足立区から！



自由民主党
鈴木 進 議員

各家庭で省エネの取り組みを

【問】各家庭で、電気、ガス等のエネルギー節約を喚起するには、節約効果を具体的数値で示す等、わかりやすくする必要があります。効果的な省エネの方法には、どのようなものがあるか。

また、区長自身の環境への取り組みを区民に公表する等、PR方法を工夫してはどうか。



【区長】第二次環境基本計画の中で、CO₂とごみの削減量の数値目標等を盛り込むほか、環境家計簿や様々な広告媒体を通じて、

障害者福祉充実 鉄道高架化とまちづくり



自由民主党
白石 正輝 議員

障害者福祉の充実に

【問】都営住宅建て替えに伴う余剰地の社会福祉法人への無償貸付を、都に求めてはどうか。

通所施設等の新設や老朽施設の建て替えの財源確保のため、基金を新設すべきではないか。

成人病や緑内障の検診・治療等を行うことで、障害者数を減少できると思うがどうか。

具体的な行動で削減できるCO₂のごみを示していく。

また、自身が実践している「電気を小まめに切る」「マイ箸やマイバッグを持ち歩く」「環境家計簿に登録する」等について、普及啓発に努めていきたい。

介護予防には高齢者の生きがいづくりが必要だ

【問】介護予防には、元気に過ごせることが幸せという認識を高齢者自身もつ必要がある。それには、高齢者が生きがいをもって生活できることが、何よりも大切と思うがどうか。

【福祉】現在、介護予防交流会を実施したり、老人クラブへの助成を行っている。

また、平成20年度は、第4期高齢者保健福祉計画の見直しにあたるので、新たに社会参加について検討していく。

償貸付と定めており、要望に沿えないとの回答があった。



現在の地域福祉振興基金の活

代表・一般質問

区政を



本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます

ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

用を継続しながら、基金新設の研究を行っていく。

平成20年度から実施される特定健診等の際、心電図検査や眼底検査等を実施していく。

【問】 まちづくりを含め、基金の積み増しが必要ではないか。

技術的な検討状況はどうか。

まちづくりには、公的住宅を最大限活用すべきではないか。

【市街地】 鉄道高架化の基金は、計画的に積み増していく。まちづくりについても、基金の設置も含め的確に対応していく。今年度は、東武鉄道とコスト等の比較検討を行う。その後、国土交通省との比較設計協議や都市計画手続きを経て、平成23年度の事業着手を目指していく。UR都市機構や都へ積極的に働きかけていく。

祖国日本の未来を思う



自由民主党
せぬま 剛 議員

区の道徳教育の全体計画を示せ

【問】教育再生会議では、道徳を教科として充実させ、人間として必要な規範意識を学校で身につけさせると明記している。国を愛する心を柱に、「思いやり」「感謝」「誠実」等、道徳的価値をしっかりと心に受け止めるべきではないか。



【教育指導】現在、各学校では学習指導要領に基づき、教育課程上に道徳教育を明確に位置づけるとともに、全体計画、年間指導計画を作成し、区教委に提

出している。

また、各学校に対し、毎年計画を見直しさせ、指導主事が指導・助言を行っている。

人権教育は慎重を期さねばならない

【問】自分さえ良ければという風潮がまかり通る現在、人権の名のもとにこれを濫用すれば、他人の権利を否定する非人間的社会となってしまう。

区の教育は、躰を重んじ人としての義務を教えるべきではないか。

【教育指導】区教委では、学校が「権利のみを主張する等の間違った人権ではなく、義務と責任を果たす等、正しい適切な人権」について指導することを基本とし、躰を含めて社会の一員としての自覚を育むよう指導を行っている。

足立区議会公明党

妊婦健診の公費負担 14回への拡大と、 特定健診の無料化について



公明党
つすい 浩一 議員

シンクタンクの活用を！

【問】自治体間競争に勝ち残り安心して暮らせる足立区の実現のため、政策形成能力を高める必要がある。民間丸投げでなく、区の特性を生かし、職員も加わった足立区型シンクタンクの設置について、区の見解を伺う。

【区長】シンクタンク的な組織は必要である。足立区の将来像や行財政を含めた総合的な方向性等の検討を中心に考えている。

また、区の職員が中核となり、区に根ざした政策立案が不可欠である。各課が持つデータの活用についても、シンクタンクの設置とあわせて検討していく。

特定健診の自己負担軽減を！

【問】我が党は、特定健診制度の自己負担無料化の緊急要望を行った。区長は「当面の間、自己負担分は頂戴しない」と発言したが、区の見解を伺う。

また、後期高齢者健診もこれに含まれるのか。

【区民】特定健診・特定保健指導の自己負担金は、第1期実施計画における平成20年度から平成24年度までは無料とする。後期高齢者健診についても、

特定健診等と同様に実施する。

妊婦健康診査の公費負担回数を拡大すべきである

【問】区は4月より妊婦健診の公費負担回数を2回から5回へ拡大するとしていた。

しかし、我が党は、区に14回への回数拡大の緊急要望を行った。区長は記者会見で、要望に沿って4月より実施したいと述べたが、事業内容を伺う。



【衛生】妊婦健康診査の公費負担は、5回への拡充や区独自の対策を準備していたが、23区が多くが14回制を採用している。

当区も、妊婦健康診査の公費負担回数を14回とするともに、

超音波検診公費負担回数を2回として、平成20年度から事業を開始する考えである。

民の検診や、治療等の相談窓口の設置が必要と思うが、区の見解を伺う。

【衛生】肝炎ウイルスの相談は保健総合センターが窓口となり、保健指導ならびに専門医療機関への受診勧奨等を行っている。

ノーマイカーデーの設定を

【問】つくばエクスプレスや日暮里・舎人ライナーの開通、また「はるかぜ」等も拡充し、足立区も利便性が向上した。

地球温暖化対策の視点からもノーマイカーデーを設け、公共交通機関を利用するよう推進し

【問】区の見解を伺う。

足立の未来を支える 産業支援と緑の保全を！



公明党
小泉 ひろし 議員

区内産業を強力に支援せよ！

【問】区内産業情報のデータベース構築で、様々な有効活用ができる。活用可能なホームページを開設すべきと思うがどうか。

また、「都立武道館」等を会場にあち産業展や見本市等を企画し、区内外に大きく「メイドインあだち」を発信すべきと思うが、区の見解を伺う。

【産業経済】東京都中小企業振興公社のデータベースと、4月開設予定の産業経済ホームページをリンクさせ、区内事業者の情報収集や受発注等に役立つホームページを目指していく。

【土木】マイカーの利用抑制は、大きな効果が期待できる。自転車や公共交通機関の利用促進を含め環境意識の啓発を図り、都が提唱するノーマイカーデーを参考に検討していく。

家庭に夜間照明の設置を！

【問】「あだちキッズぱれっと」の円滑な運用には、家庭の夜間照明の設置が重要である。計画的に設置していくべきと思うが、区の見解を伺う。

【教育事業】平成20年度予算案では、3箇所分の設置経費を計上している。今後、学校開放団体の利用状況等も踏まえ、設置の可否について検討していく。

また、区内の地場産業を広くPRするため、さらに大会場で産業展等を開催する必要がある。各イベントの見直しと、関係団体と協議し検討していく。

区内の緑地を保全せよ！



【問】緑の実態調査では、今後67年で全ての屋敷林が喪失す

ると予測、区内最大級の屋敷林等が残る扇地区も例外ではない。特別緑地保全地区指定の要望や、国の「コミュニティガーデン」について、区の見解を伺う。

【都市整備】都市緑地法の改正



公明党
岡安 たかし 議員

視覚障がい者施策を推進せよ！ 5歳児健診の導入を！

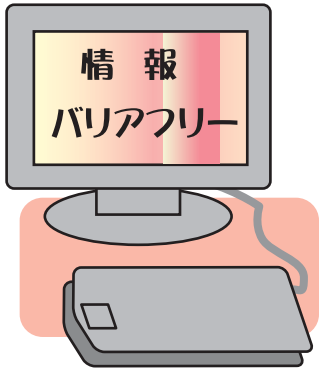
視覚障がい者の情報バリアフリー促進について

【問】本庁舎並びに各福祉事務所等へ音声・拡大読書機の設置を強く要望するが見解を伺う。

また、行政発行物のSPコード導入・拡張についても伺う。

【福祉】平成20年度は、障害福祉センターに音声読書器の設置を予定している。その利用状況を踏まえ、本庁舎や福祉事務所窓口への設置を検討していく。

区発行物では、現在「障がい者のしおり」等にSPコードを導入している。可能なものを精査し、導入・拡張していく。



発達障がい者施策について

【問】就学時まで1年間の余裕があり、スクリーニングとし

により、特別緑地保全地区の指定が可能となったが、制度導入の可否を含めて検討していく。

「コミュニティガーデン」については、全庁的なPTを設置し、検討を進めていく。

て最適である5歳児健診の導入

日本共産党足立区議団

貧困を打開し、格差を是正するためにどう努力するのか



日本共産党
針谷 みきお 議員

貧困を打開し、格差を解消するための努力をしないのか

【問】暖房を控え、マフラーを巻いて暮らす等、増税や原油高騰が原因で区民生活は深刻である。今ある施策がセーフティネットの役割を果たしているのか。また、税の所得再配分機能や社会保障を今より重視するのかわりか、区長に問う。

【区長】現行の福祉制度がセーフティネットの機能を果たしており、既存制度を生かし、自立

を強く望むが、区の見解を伺う。また、我が党は発達障害支援センターの設置を要望した。進捗状況とスケジュールを伺う。

【福祉】発達障害の正しい理解と、保護者が早期発見できるパンフレットを作成することや、発見後の支援体制の整備を進める等、課題の解消に努め、できる限り早く健診を実施したい。

センター設置については、障害福祉と教育の連携強化等検討しており、平成21年度には一貫した支援体制を確立したいと考えている。発達障害者支援法見直しの動向も見据えながら検討していく。

【福祉】財政状況から、区独自のヘルパー派遣の拡充は困難である。事業運営は介護報酬の枠内で対応すべきであり、当面、運営費補助は考えていない。用地取得費補助金が平成20年度で廃止になるが、建設補助は増額になる。建設進展する補助制度のあり方を検討していく。

支援策をすすめる。また、税の所得再配分機能や社会保障の意義も認識しており、個別に判断していく。

【問】胃潰瘍等の因子といわれているピロリ菌の検診制度が始まるが、菌の除去は保険適用がなく何らかの支援策を求めると、衛生検査で陽性の場合、胃内視鏡検査を受け、胃潰瘍等の所見がない場合には除菌費用の一部を助成する予定である。

【問】災害予防、復興にも重要な役割を果たす地域コミュニティの問題を切り離し、地域のまちづくり計画をつくることは困難



介護の充実、特養ホームへの運営費・建設費補助の拡充を

【問】介護保険の改悪で介護抑制が起きている。渋谷区のように保険外で掃除等の生活支援サービスを提供すべき。介護報酬切り下げで運営困難な施設に運営費補助を行うべき。都の特養ホーム建設費補助が終了する。区が独自に補助をすべきと思うかどうか。

【福祉】財政状況から、区独自のヘルパー派遣の拡充は困難である。事業運営は介護報酬の枠内で対応すべきであり、当面、運営費補助は考えていない。用地取得費補助金が平成20年度で廃止になるが、建設補助は増額になる。建設進展する補助制度のあり方を検討していく。

【問】学校図書館の蔵書をコンピュータ管理するとともに、区立図書館とのネットワーク化や図書購入費を計画的に増やすべきと思うかどうか。

自治体の防災計画と低所得者の自立支援策について



日本共産党
大島 芳江 議員

【問】災害予防、復興にも重要な役割を果たす地域コミュニティの問題を切り離し、地域のまちづくり計画をつくることは困難

【問】T・Yや少人数指導のため加配されている教職員の一部を配置し、小学校1年生の35人学級の実施は可能と思うかどうか。これ以外にはどのような方法があるのか、都教委と協議中の内容を明らかにし、区民に理解を求めたいと思うかどうか。

【教育次長】都は、加配教員を少人数学級にあてることは認められないとの立場である。都教委には、身分を区教委に一時的に移し、異動時に都の身分に戻る割愛制度を提案している。同時に、ステップアップ講師等、平成20年度中に検討し、区民の理解を得ていきたい。学校図書費の増額、ネットワーク化について

【問】学校図書館の蔵書をコンピュータ管理するとともに、区立図書館とのネットワーク化や図書購入費を計画的に増やすべきと思うかどうか。

【教育次長】蔵書は計画的に増やすとともに、インターネットを利用した蔵書検索等を積極的に活用し、ニーズに応えていく。なお、蔵書のコンピュータ管理は、今後の課題とする。

【問】災害予防、復興にも重要な役割を果たす地域コミュニティの問題を切り離し、地域のまちづくり計画をつくることは困難



が主体的に利用するものである【問】自立支援プログラムは、自らの選択と決定に委ね、強制すべきでないと思うかどうか。また、自立支援プログラムを選択しない等により、指導・指示違反として保護の停・廃止はできないと思うかどうか。

【区民】地域コミュニティを明確に位置づけることが必要と考へており、防災コミュニティ計画を早急に策定する。これを基に住民との協働で、各地域の個別計画を順次、策定していく。自立支援プログラムは被保護者

足立区議会民主党

治安対策として「青色パトロールカー」の増車や巡回増を 桁川の浄化は八潮市側にも責任を求めよ



民主党
鈴木 あきひろ 議員

青色パトロールカーのさらなる充実を

【問】青色パトロールカーの増車、巡回増すべきだがどうか。また、時間帯により、有償ボランティアや警備会社への委託増を検討してはどうか。

【危機管理】車両を区民ボランティア隊員が借りやすい環境をつくり、巡回増を目指す。警備会社等への委託増は、隊員の意欲をそぐ懸念があるので、ボランティア方式を継続し、現行の民間委託パトロールは、深

【問】災害予防、復興にも重要な役割を果たす地域コミュニティの問題を切り離し、地域のまちづくり計画をつくることは困難

【問】自立支援プログラムは、自らの選択と決定に委ね、強制すべきでないと思うかどうか。また、自立支援プログラムを選択しない等により、指導・指示違反として保護の停・廃止はできないと思うかどうか。

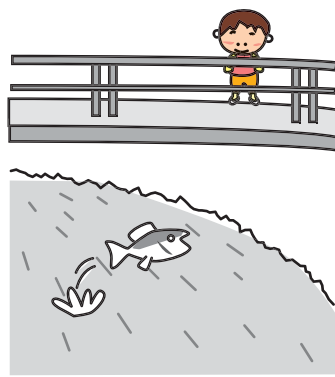
【福祉】自立支援プログラムは、本人の意思を尊重してプログラムメニューを提供している。しかし、自ら持てる能力を発揮しない場合は、指導・指示をすることがあり、これに違反した場合は、保護の停・廃止を行うことがある。

【問】学校図書館の蔵書をコンピュータ管理するとともに、区立図書館とのネットワーク化や図書購入費を計画的に増やすべきと思うかどうか。

【教育次長】蔵書は計画的に増やすとともに、インターネットを利用した蔵書検索等を積極的に活用し、ニーズに応えていく。なお、蔵書のコンピュータ管理は、今後の課題とする。

【問】災害予防、復興にも重要な役割を果たす地域コミュニティの問題を切り離し、地域のまちづくり計画をつくることは困難

が必要。また、一般的な雑排水を制限する権限はない。引き続き区として求めていく。役割分担を明確化し費用負担を求めていくが、当区で先行的に対応していきたい。



【問】東京国際女子マラソンの実現を

後継として、当区へのマラソン誘致を検討してはどうか。

【教育事業】交通規制の関係等、当区で開催する場合も状況は同様であり、困難と考えている。学校裏サイトへの対策強化を

【問】学校裏サイトに対する通報窓口、監視体制、削除依頼等の対策を強化すべきだがどうか。

【教育指導】校長会等で悪質な書き込みへの対処方法の情報提供や、児童・生徒・保護者への指導を繰り返し行っている。通報窓口等について、警察等の取り組み状況を踏まえ、効果的な方策を検討していく。

今後の環境対策と自転車対策について



民主党 工藤 哲也 議員

環境対策における将来構想は【問】環境対策における具体的な施策について、今後の将来構想も含め見解を伺う。

【区長】環境家計簿事業のさらなるアピールや、「環境サミット in 足立」において、区民の意識啓発をはかる等、様々な施策を積み重ねていく。

また、自然再生施策や公園整備にも積極的に取り組み、自然豊かなまち、潤いのあるまちづくりを進めていく。

自転車専用道路の試験実施を行うかどうか

【問】北千住駅西口駅前通りは時間帯によって歩行者と自転車の



第1回 定例会での議決結果

可決した議案

予算

◇平成20年度足立区一般会計予算

◇平成20年度足立区国民健康保険特別会計予算

◇平成20年度足立区介護保険特別会計予算

◇平成20年度足立区後期高齢者医療特別会計予算

◇平成20年度足立区老人保健医療特別会計予算

(5会計予算の内容は8頁に掲載)

補正予算

◇平成19年度足立区一般会計補正予算(第4号)

◇平成19年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区老人保健医療特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区一般会計補正予算(第1号)

◇平成19年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区老人保健医療特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区一般会計補正予算(第1号)

◇平成19年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

総額をそれぞれ322億3千892万1千円とするもの

(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

◇平成19年度足立区老人保健医療特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区一般会計補正予算(第1号)

◇平成19年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区老人保健医療特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区一般会計補正予算(第1号)

◇平成19年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区老人保健医療特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区一般会計補正予算(第1号)

◇平成19年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区老人保健医療特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区一般会計補正予算(第1号)

◇平成19年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区老人保健医療特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区一般会計補正予算(第1号)

◇平成19年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◇平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

◇足立区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例

◇足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例

◇足立区後期高齢者医療に関する条例

◇足立区事務手数料条例の一部を改正する条例

◇足立区河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例

◇足立区保健所使用条例の一部を改正する条例

◇足立区区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区区長及び副区長の給料月額を減額するもの

◇足立区行政手続条例及び足立区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

◇足立区立図書館条例の一部を改正するもの

請負契約

◇(仮称)西部児童館老人館新築工事請負契約

◇契約金額 2億9千74万5千円

◇相手方 奥井建設株式会社

◇契約方法 条件付一般競争入札

その他の議案

◇特別区人事及び厚生事務組合の規約変更について

特別区人事及び厚生事務組合の共同処理する事務を変更するために、規約の一部を変更するもの

東京都市後期高齢者医療広域連合の規約変更について
後期高齢者医療の保険料軽減に係る経費を各区市町村が支弁するために、規約の一部を変更するもの

足立区文化芸術劇場の指定管理者の指定について
文化芸術劇場の指定管理者を指定するもの

足立区と葛飾区の行政境界に係る道路の管理に関する協定の變更について
行政境界に係る道路の管理に関する協定を変更するもの

葛飾区との行政境界に位置する道路の重複認定に伴い、葛飾区が区外道路として道路認定することを承諾するもの

報告

専決処分した事件の報告及び承認について
足立区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例

専決処分した事件の報告及び承認について
足立区教育委員会教育長の給料等に関する条例の一部を改正する条例

訴えの提起について
足立区生業資金の連帯保証人に対し、貸付金及びこれに対する利息、遅延損害金並びに訴訟費用を請求するもの

損害賠償の額の決定
保育所に2人以上の児童が入所している場合、2人目以降の保育料を無料とする

児童が区立大境公園内のタイヤブランコで遊んでいたところ、タイヤブランコが地面に落下し、児童は地面に投げ出され、右下腿部及び左下腿部打撲の傷害を与えた賠償の額(5万7千650円)の決定

議員提出議案

可決したもの
足立区議会議員定数条例の一部を改正する条例

可決したもの
足立区組織条例の改正に伴い、規定を整備するもの

可決したもの
足立区政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

否決したもの
足立区ながいき応援手当支給に関する条例

否決したもの
高年齢者が安心して長生きできるように、ながいき応援手当を支給し、介護保険料などの負担を軽減することともに、福祉の増進を図るもの

否決したもの
足立区保育所の保育の実施に関する条例等の一部を改正する条例

否決したもの
保育所に2人以上の児童が入所している場合、2人目以降の保育料を無料とする

降の保育料を無料とするもの、現行の保育料を今後も維持するもの

足立区小中学校等入学祝金の支給に関する条例
学齢児童又は学齢生徒となる者を扶養している保護者に対し、入学祝金を支給することにより、入学を祝い、子育て家庭の就学準備を支援するとともに児童生徒の健全な育成を助長するもの

以上3議案について、日本共産党足立区議団より否決に反対の立場から討論あり

みなさんからの

請願陳情

採択したもの

花畑地区における住区センター建設の早期実現を求める請願

不採択したもの

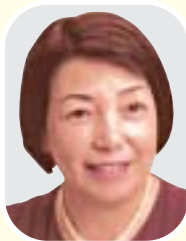
新田在宅サービスセンター存続のため運営費補助金の継続を求める陳情

陳情の趣旨に沿いかねる
後期高齢者医療制度の中止を求める陳情
陳情の趣旨に沿いかねる

永年在職議員を表彰

足立区議会は、第1回定例会第1日(2月21日)の本会議において、足立区議会議員として永年在職および区政の伸展に貢献された功勞に対し、左記の3名を表彰しました。

足立区議会表彰(在職25年)



大島 芳江 議員



針谷 みさお 議員



藤沼 壮次 議員

当選7回、厚生委員会委員長、建設委員会副委員長、文教委員会副委員長、都市環境委員会副委員長、予算・決算特別委員会副委員長等を歴任

◆特別区道路線の認定

所在地	幅員(m)	延長(m)
伊興四丁目地内	4.00	18.00
小台一丁目地内	20.61~25.73	239.78
小台一丁目地区土地区画整理事業施行区域内	6.00	331.96
佐野六木地区土地区画整理事業施行区域内	4.50	19.56

◆特別区道路線の認定(重複)

所在地	幅員(m)	延長(m)
綾瀬二丁目・葛飾区小菅四丁目・堀切八丁目・西亀有二丁目地内	6.66~15.84	940.28
綾瀬二丁目・東綾瀬一丁目・東和一丁目・葛飾区西亀有二・四丁目地内	3.89~7.63 16.08~16.62	176.54 108.86
中川一丁目・葛飾区亀有三丁目地内	10.45~10.55	111.69

◆特別区道路線の廃止

所在地	幅員(m)	延長(m)
綾瀬二丁目地内	4.00、6.00	790.28
東和一丁目地内	6.00	93.70

区管理通路路線の設置について

所在地	幅員(m)	延長(m)
梅島一丁目地内	3.63~3.64	78.58
梅島一丁目地内	3.64	71.55
島根三丁目地内	3.59~3.79	63.57
平野二丁目地内	3.63	28.31

上記の各路線の略図は、区議会ホームページでご覧いただけます。

本紙に掲載いたしました、代表質問や一般質問、議案の内容等は概要です。詳細については、5月下旬以降、区議会事務局・区政相談課・区立図書館をご覧ください。

また、ホームページにも掲載いたします。

◆意見の分かれた案件

○ = 賛成 x = 反対

件名	会派名及び結果					結果
	自由民主党	足立区議会	公明党	足立区議会	日本共産党	
平成19年度足立区一般会計補正予算(第4号)				x		原案可決
平成19年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)				x		原案可決
平成20年度足立区一般会計予算				x		原案可決
平成20年度足立区国民健康保険特別会計予算				x		原案可決
平成20年度足立区後期高齢者医療特別会計予算				x		原案可決
足立区職員定数条例の一部を改正する条例				x		原案可決
特別区人事及び厚生事務組合の規約変更について				x		原案可決
足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例				x		原案可決
足立区後期高齢者医療に関する条例				x		原案可決
足立区介護保険事業者支援施設条例の一部を改正する条例				x		原案可決
足立区高齢者作業所条例を廃止する条例				x		原案可決
足立区ながいき応援手当支給に関する条例(議員提出議案)	x	x			x	原案否決
足立区保育所の保育の実施に関する条例等の一部を改正する条例(議員提出議案)	x	x			x	原案否決
足立区小中学校等入学祝金の支給に関する条例(議員提出議案)	x	x			x	原案否決
足立区議会議員定数条例の一部を改正する条例(議員提出議案)				x		原案可決

●足立区議会情報公開制度の実施状況●

平成19年度 請求件数及び処理状況

	請求件数	取下げ件数	開示	一部開示	非開示	不存在	存否非開示	閲覧	視聴	写し	開示率(%)
平成19年度 実績	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	100

*平成19年4月1日~平成20年3月31日

足立区議会公明党

一般会計	賛	成
国民健康保険特別会計	賛	成
介護保険特別会計	賛	成
後期高齢者医療特別会計	賛	成
老人保健医療特別会計	賛	成
一般会計補正	賛	成

平成20年度予算は、近藤区長が初めて編成した予算であり、子ども施策、環境施策、治安回復施策に集中的に行財政資源を配分している。

子ども施策では、「あだちキッズぱれつと」、「放課後学びの場」の整備を進め、平成22年度までに、区内小・中学校全校で実施予定である。

環境施策では、「(仮称)環境サミットin足立」や、太陽光発電システム設置補助金の拡充等により、平成24年までに温室効果ガス排出量は10%削減、ゴミは8%減量を目指している。

治安回復施策では、「ワンチャリ・ツーロック作戦」によるペーパードライバーの削減、実践により、安心して暮らせる美しい街を目指している。



淵上 隆 委 員

これらの多くは、我が党が要望してきた事業であり、大いに評価する。

一般会計予算は、前年度より29億円の減であるが、収入では特別区財政調整交付金が初めて1千億円を突破した。

このように、交付金依存度が

しかし、区民にとってより重要なのは、所得の向上等による生活の向上である。

区内産業も時代に即した振興策が必要であり、若者や女性、中高年の就労支援等による世帯の所得向上策も必要である。

その上で、子育て支援のさらなる充実と、高齢者が安心して暮らせる介護保険等の体制作りも重要な課題である。

また、子どもの能力を伸ばすには、教育が大きな役割を担っている。将来、子どもたちが社会で力を発揮できるように育てられる体制を構築すべきである。

最後に、我が党の様々な提案にも真摯に対応していただけるよう要望する。

足立区議会自由民主党

一般会計	賛	成
国民健康保険特別会計	賛	成
介護保険特別会計	賛	成
後期高齢者医療特別会計	賛	成
老人保健医療特別会計	賛	成
一般会計補正	賛	成

本予算案は、近藤区政初の年間総合予算であり、「子ども・環境・治安」3つの鍵で拓こう！足立の未来」と銘打った、メリハリの利いた予算となった。

一般会計予算の総額は、2千174億円となり、前年度より29億円の減額となった。

子ども施策では、「あだちキッズぱれつと」や、「おいしい給食日本一」の取り組みを評価する一方、今後は、庁内より横断的な事業展開が必要となつていくことを指摘しておく。

環境対策では、区民一丸となつての継続的な取り組みが欠かせない。「環境サミットin足立」では、足立区からストゥップ温暖化を世界に発信していくような事業展開を期待する。

治安対策では、ワンチャリ・



高山 延之 委 員

また、都区財政調整交付金に多くの財源を依存する当区の行財政運営にとつては、今後の税制改正の動向を引き続き注視していかなければならない。

歳出面では、生活保護費等の扶助費の増大や、膨大な公共施設更新経費が予測され、今後、区民との協働の視点から、各施設やサービスのあり方についての再構築が求められている。

また、基金積立では、中長期的な視点に立つて区債残高とのバランスに配慮しつつ、最大限の努力を行っていく必要がある。

最後に、我が党の委員が指摘した事項等は、本予算の執行に当たって確実に反映されることを強く要望し討論とする。

近藤区長の初予算編成である本予算案は、一部に区民要望に応えるものはあるものの、区財政確保が最優先され、基金積立残高は過去最高の852億円に到達した。一括償還額をはるかに超える減債基金を積む等、そのため込み方は異常である。

一方、重度障害者の巡回入浴サービス等、わずか140万円でできる施策も「バランス」を理由に有料にし、住民税の負担軽減に背を向ける等、区民生活を支える視点が弱い予算と言える。

また、原油・原材料高騰の影響への対策は、低所得者等への対応も、事業者への融資改善も行わない冷たい姿勢である。

区長は、「子ども

特別委員会の 予算委員会 討論(要旨)

現在、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界的な経済の混乱が続いている。

このような中で編成された予算案は、「子ども施策」「環境施策」「治安回復施策」に重点を置いている。

その中で、こんにちは赤ちゃん訪問事業、日本一のおいしい給食、公共施設の地球温暖化対策事業、ワンチャリ・ツーロック作戦等の施策が盛り込まれた。子どもたちが元気に育ち、将来のために豊かな環境を残し、安心して暮らせる安全な街にするという明確なメッセージが伝わる予算と評価できる。

ただし、4月から廃プラスチックの分別をしないのは大変残念



ぬかが 和子 委 員

「環境」「治安」を新年度予算の3つの柱として打ち出した。しかし、子ども分野では、保育料の値上げを行い、既に12区で実施され600万円で実現可能な子ども医療費の入院給食費助成は、検討もしていない。

環境でも、プラスチック容器までリサイクルせずに、4月から全域で燃やすことを強行する。我が党は、予算修正案を提出した。基金のわずか1.6%を活用し、ムダを省けば38の新規・拡充事業を行うことができ、生活支援を充実できるものである。

なお、道路特定財源の暫定税

率を廃止しても、道路整備に税金が使えないわけではなく、大切なのは、開かずの踏切対策等住民の命と安全に関わる緊急対策を優先することである。

我が党は、竹ノ塚駅付近鉄道立体化事業が実現できるように、今後も、超党派で力を尽くす決意である。

また、国保会計、後期高齢者医療特別会計予算とも、低所得者ほど保険料の負担増の割合が高く、格差を拡大させる保険料負担になる。

後期高齢者を現役世代から切り離し、新たな負担増を強い、給付内容も高齢者を差別する制度改悪は認められない。

区長は、自治体の長として、格差を縮小し、区民の負担を軽減する立場に立つよう求める。



長谷川 たかこ 委 員

「犯罪ゼロ週間」等、区民の防犯意識を向上させること。国際化を見据えた多文化共生条例の制定をすること。「いじめへの対応マニュアル」の策定、待機児童の解消、フリーター・ニートである若者への自立支援等、子ども若者施策を進めること。

都民ゴルフ場跡地の自然保護を図ること。交通網が十分でない地域へのコミュニティバスの開通を進めること。公共施設や区の印刷物等のカラーユニバーサルデザインを進めること。廃プラスチックの分別をさらに進めること。あだちブランドのPR等を十分に検討すること。区独自の不妊治療の助成を行うこと。

以上、委員会での議論の内容を十分に念頭に置いて、執行されることを強く要望する。

最後に次のことを指摘する。

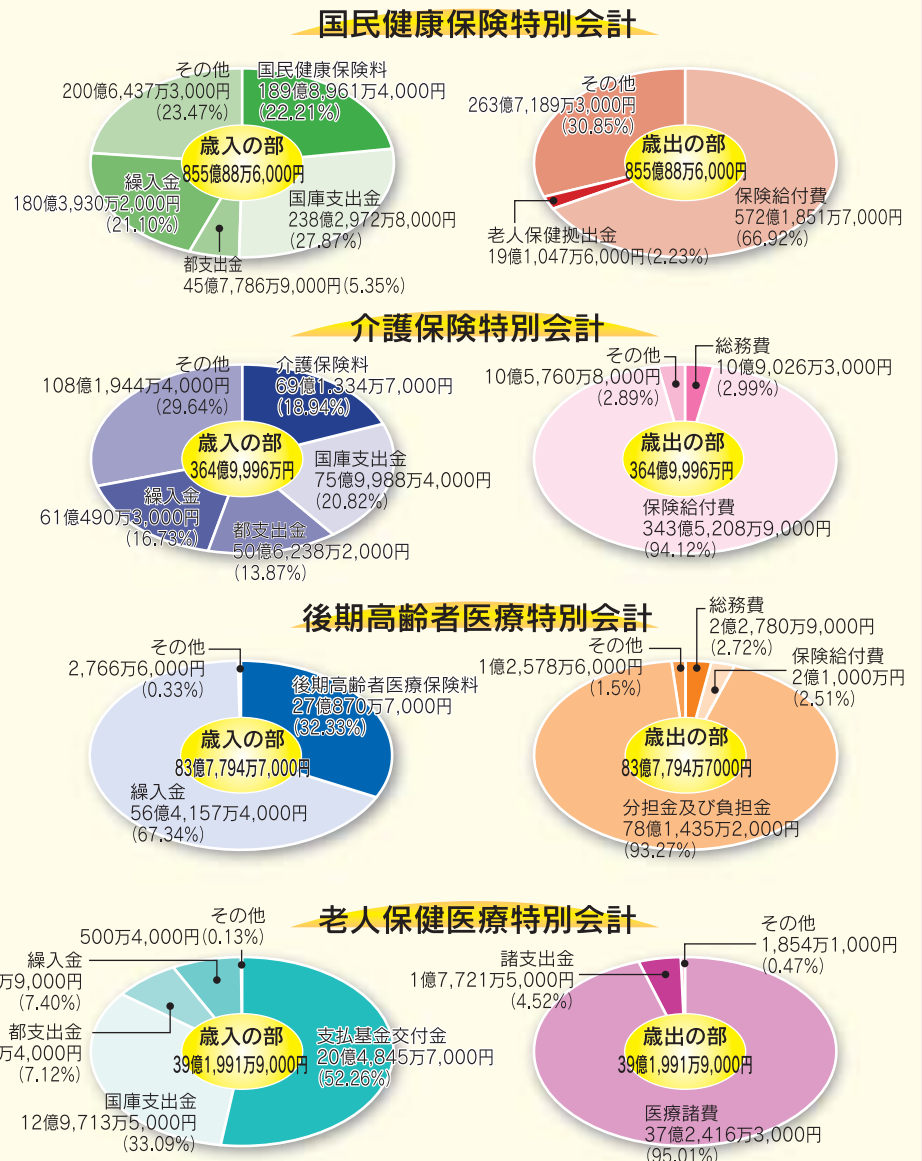
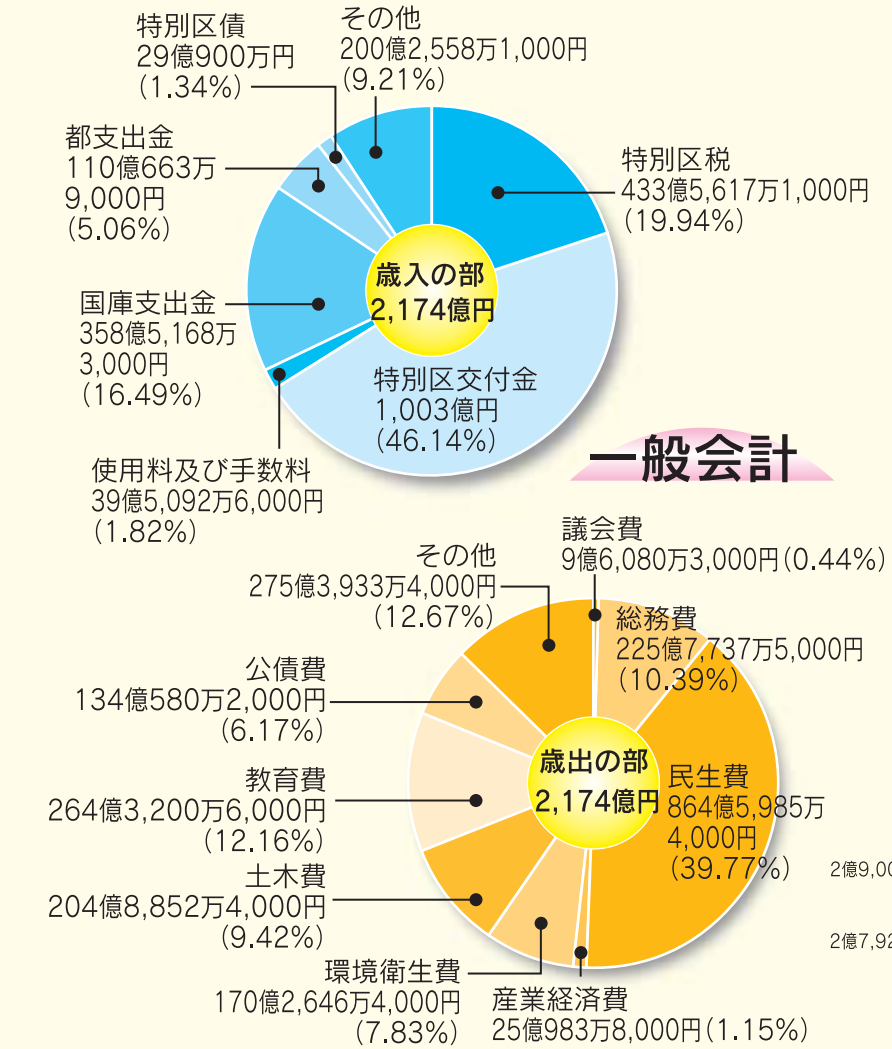
足立区議会民主党

一般会計	賛	成
国民健康保険特別会計	賛	成
介護保険特別会計	賛	成
後期高齢者医療特別会計	賛	成
老人保健医療特別会計	賛	成
一般会計補正	賛	成

日本共産党足立区議団

一般会計	賛	成
国民健康保険特別会計	賛	成
介護保険特別会計	賛	成
後期高齢者医療特別会計	賛	成
老人保健医療特別会計	賛	成
一般会計補正	賛	成

平成20年度各会計予算



平成20年度各会計予算 予算特別委員会審査

予算特別委員会を設置
各会計予算案を審査するため、2月25日の本会議において、予算特別委員会を設置しました。3月3日に本特別委員会を開会し、しのはら守宏委員長、前野和男副委員長、ぬかが和子副委員長を選任し、11日までに6日間審査を行いました。

予算の特徴
平成20年度予算は、「1つとも、環境・治安・三つの鍵で拓こう！足立の未来」として、「こども施策」、「環境施策」、「治安回復施策」に集中的に財政資源が配分されています。

主な質疑事項
本特別委員会では、区長マニフェストの実現に向けた取り組みと成果、将来に備えるための区の積立金、道路特定財源問題が及ぼす「竹ノ塚駅付近連続立体化事業」への影響等のほか、本予算の各主要事業についても活発な質疑が行われました。

その他、後期高齢者医療制度特定健診・保健指導、北千住駅東口地区再開発、交通不便地域の解消、LED照明等の省エネ設備機器の導入等、各委員からそれぞれの立場で、区政全般について幅広く質疑が行われました。

委員会の審査結果
本特別委員会2日目に、針谷みきお委員長3名から、平成20年度「一般会計予算」の修正案が提出されました。質疑終了後、各派から討論が行われ、6議案及び修正案に



予算特別委員会委員 (25名)

◎委員長 ○副委員長

市川 野宏	前川 和宏	ぬかが 和子	おさき 信之	延岡 之雄	ひであき 延岡	重光 治則	英生 治則	正生 治則	英治 治則	美幸 治則	またし 治則	昭二 治則	ける 治則	和隆 治則	伊藤 治則	伊藤 治則	伊藤 治則	伊藤 治則	伊藤 治則	伊藤 治則	伊藤 治則	伊藤 治則	伊藤 治則
-------	-------	--------	--------	-------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

ついて採決しました。(討論の要旨は7頁に記載)

本会議での議決結果
本特別委員会の審査結果については、3月27日の本会議において、しのはら守宏委員長より報告がされた後、各予算案の採決を行いました。

その結果、各予算案は原案のとおり可決し、平成20年度予算が成立しました。

今定例会で可決した意見書(要旨)

銃犯罪の撲滅を求める意見書

銃を使用した犯罪が全国で多発し、大きな問題となっている。これら銃犯罪の蔓延は、住民の平穏な生活を脅かすものであり、断じて許すことはできない。よって、足立区議会は国会及び政府に対し、銃犯罪の撲滅のため、次の事項の早期実現を強く求めるものである。

- 銃を使用した犯罪に対しては、生活の安全にかかわる重大な事態であると受け止め、徹底的な捜査を行うとともに、再発防止策を講ずること。
- 暴力団関係者等による銃の不法所持に対し、厳しい摘発を行うとともに、各省庁の連携のもとで密輸入防止のための水際対策を徹底して行い、違法銃の流通を阻止すること。また、銃を使用した抗争事件等の発生に対しては、徹底した検挙を行うこと。
- 猟銃やスポーツ銃等の合法銃の所持については、所持許可申請における手続きを厳格に行うとともに、銃や実弾の使用・保管状況の把握を徹底すること。
- 銃の所持許可後の欠格事由の厳格化等、現行の銃刀法の見直しを進め、法改正を行うこと。(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国家公安委員会委員長あて)

違法・有害情報から子どもたちを守るための環境整備を求める意見書
現在は、子どもたちが携帯電話

区議会ダイヤル

足立区議会自由民主党	☎ 3880-5760
足立区議会公明党	☎ 3880-5765
日本共産党足立区議団	☎ 3880-5770
足立区議会民主党	☎ 3880-5775
無党派	☎ 3880-5780

*議員の連絡先は、わたしの便利帳や区議会ホームページなどでご確認ください。
足立区議会事務局 ☎ 3880-5996
ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

話やパソコンから簡単にインターネットに接続できる状況にあり、違法・有害情報が事実上野放し状態となっている。
また、「学校裏サイト」と呼ばれる匿名掲示板には、子どもたちによる誹謗中傷が書き込まれ、いじめの温床になっている等の問題も起きている。
よって、足立区議会は政府に対し、子どもたちをインターネット上の違法・有害情報から守るため、次の事項の早期実現を強く求めるものである。

- 子どもたちに対するメディアリテラシー教育の推進並びに保護者等への啓発に努めること。
- 違法・有害サイトの利用防止のための活動を行う団体に対して、財政支援を含めた協力を行うこと。
- フィルタリングソフト等の技術開発・水準維持に対する支援を行うこと。(内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、国家公安委員会委員長あて)